

Ⅲ 実践事例集

今年度は、教科化に向け、委託校や実践校また管内の多くの学校で授業に取り組んでいます。実践の資料として指導案を紹介します。

指導案の紹介にあたって、各校で形式は異なりますので、以下の様式に統一させていただきました。

実践例 教材名 「〇〇〇〇」(出典：〇〇出版 「〇〇〇〇」)		
〇〇学校	第〇学年	内容項目 A 〇〇
おねらい		
	学習活動・主な発問と予想される反応	指導上の留意点○と評価☆
導入		
展開 (前)		
展開 (後半)		
終末		

なお、実践例は、内容項目ごとに掲載しています。

A	正直・誠実	・・・P29
A	自主、自律、自由と責任	・・・P30
B	礼儀	・・・P31
B	親切、思いやり	・・・P32
C	公平な態度	・・・P33
C	よりよい学校生活、集団生活の充実	・・・P34
D	自然愛護	・・・P35
D	よりよく生きる喜び	・・・P36

ねらい うそをついたり、ごまかしをしったりしないで、明るい心で生活しようとする心情を育てる。

	学習活動・主な発問と予想される反応	指導上の留意点○と評価☆
導入	1. 2つの文からどちらが正直なのかを考えさせる。	○2つの文を提示し、本時の主題をつかませる。
	<p>どちらが正直でしょう。</p> <p>① お母さんから宿題をするように言われたけど、面倒くさいから「いやだよ」と言った。</p> <p>② お母さんから宿題をするように言われたけど、面倒くさかったけど「分かった」と言った。</p>	
展開 (前半)	2. 資料「金の おの」読んで交流する。	
	<p>「わたしの斧ではない。」と言ったきこりは、嘘について「わたしの斧です」と、少しは言いたくならなかったのだろうか。</p> <p>(思わない)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うそをつくことはよくないから。 ・落としたのは、金の斧ではないから。 ・うそをついてまで、金の斧を欲しいとは思わなかったから。 <p>(思う)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金の斧がかっこいいから。 ・銀の斧ぐらいならいいかなと思うから。 ・斧をくれると言っているから。 	○正直なきこりが「わたしのおのではない」と言った時の気持ちを話し合わせる。
	<p>友だちのきこりが「それは わたしのおのです。」と言ったとき、どんなことを思ったでしょう。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・うれしいなあ。 ・金の斧が手に入る。 ・これで大金もちだ。 	○正直ものではないきこりの気持ちについて考える。
展開 (後半)	<p>神様が正直なきこりに金・銀・鉄の斧を渡したのに、うそをついたきこりに何も渡さなかったことについてどう思いますか。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・うそをつくことはよくないことだから。 ・うそをついた罰だから。 	○神様の行いについて考える。
	4. 自分自身を振り返る。	○正直に行うことのよさについてワークシートに記入させる。 ☆正直に行うことのよさについて考えている。(ワークシートの記述内容・発表)
終末	5. 教師の説話を聞く。	○正直・誠実にかかわる教師の話を通して、価値について考えさせる。

ねらい 誠実に責任をもつことのできる行動をとるための道徳的判断力を高める。

	学習活動・主な発問と予想される反応	指導上の留意点○と評価☆
導入	<p>○私たちの道徳P22・23を読み、自分を振り返る。</p> <p>こんな自分はいませんか？</p>	<p>○自分の経験を想起させる。</p>
展開(前半)	<p>○教材を読んで健二の心情について考える。</p> <p>〈発問〉</p> <p>雄一が先生に謝っているとき、健二はどう思っただろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雄一に悪いな。 ・先生にバレルかなあ…。 ・怒られなくて良かった。 <p>翌日登校するまでに、健二はどんなことを考えていたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雄一に申し訳ない。 ・正直に言ったほうがいいのかあ…。 ・大輔に何て言おう。 ・怒られたくない。 <p>職員室に向かう健二は、どんなことを考えていたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・怒られるのは不安だけど、もやもやを晴らしたい。 ・正直に言って、雄一に謝ろう。大輔にも話をしよう。 ・自分の責任は自分でとらないといけない。 ・写真のような3人に戻りたい。 	<p>○「まずい」と思う気持ちと、「ほっとした」と思う気持ちの両方があることに気づかせる。</p> <p>○大輔のことを思うと心の葛藤はあるが、自分で考え、自分の判断で行動に起こす健二の心の変化をつかませる。</p> <p>○不安な気持ちはあるものの、自分の誠実さが前向きな気持ちや、晴れ晴れとした気持ちにつながっていることに気づかせたい。</p>
展開(後半)	<p>○教材から離れ、今までの自分を振り返る。</p> <p>〈発問〉</p> <p>健二のように、自分の言動でもやもやした経験はありますか。そのときの自分に足りなかったものは何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勇気。 ・正しい判断力。 ・前向きな気持ち。 ・責任感。 	<p>○道徳的価値について、自分の生き方を振り返る。</p>
終末	<p>○私たちの道徳P25を読んで、学習のまとめをする。</p> <p>○教師の経験を話す。</p>	

ねらい 誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にしようとする心情を育てる。

	学習活動・主な発問と予想される反応	指導上の留意点○と評価☆
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料への興味を高める。 「思いやり」とは何か。 ・ 友だちのことを考えること。 ・ 友だちのために何かをしてあげること。 ・ 友だちが困っているときに助けてあげること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の生活経験をつかみ、価値への導入と位置付ける。
展開(前半)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料提示する。(教師が範読) □ ベー又の人物像を一言で。 ・ 俳優になりたいと強く願っている。 ・ 自己中心的な人物 □ ベー又が「くちびるをかんだ」のはなぜか。 ・ やっと先生や仲間にも認められるようになったのに。 ・ せっかくのチャンスなのに。 ・ せっかく実力も付いたのに。 ・ これからどうなるのだろう。 ・ このままおくり物が届かなくなったらどうしよう。 ・ どうしよう。もう学費が払えない。 なぜ、「息子なんです。」と言ったのか。 ・ おじいさんには身寄りがいない。助けなければ。 ・ 僕のために無理をさせてしまった。 ・ 今度は、お返しをするぞ。 ・ 今まで支えてくれて、うれしかった。 ・ 何とかしなければならぬ。 ・ 付き添いたい。 手紙を読んだ□ベー又はどんなことを考えたのだろう。 ・ おじいさん、有難う。 ・ 夢を叶えます。 ・ おじいさんの思いを大切にします。 ・ 「本当の思いやり」を知った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話の内容が理解できるように教師が範読する。 ○ 利己的な□ベー又の考えに気づかせる。 ○ 養成所に通い始め、努力の成果が表れ始めた矢先のこと、不安とくやしさを感じている□ベー又の心情を考えさせる。 ○ 身体をこわしていながらも、□ベー又のために働いていたジョルジュじいさんの思いやりの深さを感じ、それに応えようとする□ベー又の姿に気づかせる。 ○ 自分の夢をあきらめなくてはならないかもしれないと追い詰められながらも言い切った心情を考えさせる。 ☆ ジョルジュじいさんの「真に相手を思いやる心」に気付いている。
展開(後半)	<ul style="list-style-type: none"> ○ これからの生活に繋げさせる。 おじいさんの「最後のおくり物」とは何だったのか。 ・ 優しさをもたらした。 ・ 思いやりをもたらした。 ・ もらったのはお金だけじゃない。 ・ 相手を思いやることを教えてくれた。 ・ 相手の立場に立って考えることが大切だと思った。 ・ 相手を思いやることを教えてくれた。 ・ 自分の命を削って、真心をくれた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 思いやりの心に視点をあて、考えを深めさせる。 ○ 想像することが難しい児童には、最後の手紙を読んだときの□ベー又の気持ちについて書くように声をかける。 ○ 自分の周りの真の思いやりや優しさに気付かせる。
終末	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「私たちの道徳」の「思いやりの心があるから共に生きられる」(P60・61)を読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 誰に対しても思いやりの心をもって親切にすることの大切さを意味付ける。

ねらい 人のやさしさに気づき、具体的な優しさを感じられる行動を考えるなかで、感謝し、応えようとする心情を育む。

	学習活動・主な発問と予想される反応	指導上の留意点○と評価☆
導入	1. 今までどういときに「やさしさ」を感じたろうか。(5分)	○ ねらいとする価値に対する話題を具体的に引き出し、問題意識をもつ。
展開 (前半)	<p>2. 教材「帰郷」を読み、話し合う。(25分)</p> <p>(1) 故郷に向かう電車の中で、研一はどのようなことを考えていたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 母の症状はどのようなものだろう。大丈夫だろうか。心配。 仕事を休んでしまって申し訳ない。仕事に影響したらいやだ。すぐに帰れるといいが… <p>(2) 研一が帰郷で得た「町のぬくもり」とは、どのようなものなのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 人の支え ・人の温かみ ・さりげない親切 人のことを心配してくれること <p>(3) あなたがこの話で、「ぬくもり」を感じる場面はどこか。</p> <ul style="list-style-type: none"> チャーハンをもらったところ 病気の母が自分のことを応援してくれていたこと 町の人が看病してくれるといったこと 友人が母のことを気に掛けてくれたこと <p>(4) 研一が帰郷によって感じたことや考えたことは、どのようなことか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分は、一人で生きていたと思っていたが、様々な人の善意や支えによって生きている。 人の支えや善意に対して感謝し、その思いに応えていきたい。 	<p>○ 研一の母のことを心配に思う気持ちもあるが、仕事も大事という心の揺れを明確にする。(人間理解)</p> <p>○ 人それぞれ「ぬくもり」の感じ方の違いを理解する。(他者理解)</p> <p>ペアで話し合う。 (理由もつけて)</p> <p>○ 「ぬくもり」の意味を共通のものにする。(価値理解)</p> <p>☆ 優しさに対して感謝をすることの大切さを感じることができる。</p>
展開 (後半)	3 自分の生活を振り返る (15分) (5) 暮らしの中にあるさりげない「ぬくもり」について目を向ける。	○ グループにして考える。 ☆ 身近なところから人の支えについて考え、大切にしようとする心情が育まれたか。 付箋を使って、交流する。
終末	4. 教師の話聞く (5分)	意欲化につなげる。

ねらい 自分の損得にとらわれることなく、誰に対しても公正公平にして、正義の実現に努めようとする態度を養う。

	学習活動・主な発問と予想される反応	指導上の留意点○と評価☆
導入	<p>○価値に関わる質問に答える。</p> <p>①次のことは正しいと思いますか、正しくないと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サッカーが下手だからチームに入れない。 ・相手が低学年なので、ゆるいボールを投げる。 ・仲の良い友達だから、給食を多めに盛る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今日のねらいに達成するための価値づけを行う。
展開(前半)	<p>○教材「ぼくは後悔しない」を読んで話し合う。</p> <p>①三郎が、議題を取り上げるか迷っているとき、どのようなことを考えていたのでしょうか。</p> <p>【取り上げる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが困っている。 ・正夫のためにも取り上げるべきだ。 <p>【取り上げない】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正夫がかawaiiそう。 ・仲が悪くなるかも。 ・正夫から文句を言われるかも。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>②三郎が、ボールの使い方について取り上げなければならなかったのは、どんな考えからでしょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・正夫君とは親友だけれど、クラスみんなが困っている。 ・運営委員として、公正な判断をするべきだ。 ・正夫君にも早く気づいてなおしてほしい。 <p>③正夫はどんな気持ちで三郎の言葉を聞いたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三郎の言うことは正しい。 ・先に言ってくれればよかったのに。 ・自分の間違いに気付いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しいことをしようとしている気持ちと、正夫に対する思いがあって迷っていることに気付かせる。(他者理解) <p>◇三郎が、自分の立場や公平さについて精一杯考え、全体の利益のために行動しようとしたことをとらえているか。(発言、ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正夫の気持ちを追究することによって三郎の正義を貫こうとする意志の強さに共感するようにする。(価値理解)
展開(後半)	<p>○実際の場面と照らし合わせながら、自分の生活を振り返る。</p> <p>①三郎のように迷ったけれど正しいことをしてよかったと思うことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達がルールを破りそうになったときに、注意をしたらやめてくれた。 ・グループを作るときに、仲間はずれをしようとしている人にやめるように言った。 	<p>◇自分の経験を想起し、自分の中の正義を見つめることができていたか。(発言、ワークシート)</p>
終末	<p>○教師の説話を聞く。</p> <p>○今日の授業で感じたことや思ったことをワークシートに書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公正公平な態度を取るためには、正しいことを主張するだけの心の強さが必要であることに気付くようにする。 ・今日の学習を通して考えたことなどをワークシートに書かせる。

ねらい 集団の中で、自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めようとする態度を育てる。

	学習活動・主な発問と予想される反応	指導上の留意点○と評価☆
導入	1. 本時の課題を確認する。 映像を見ます。この場面をつくるのに、どんな仕事をする人が必要でしょう。 ・タレント ・カメラ ・監督 ・かつら ・衣装 ・メイク ・マネージャー	○時代劇の殺陣のシーンを見ながら、価値への焦点化を図る。
展開(前半)	2. 資料を読み、考える。 現場から現場へと駆け回る福本さんは、どんな気分だったでしょう。 〈いい気分〉 ・やりがいがある・いろいろな作品に出られてうれしい 〈いい気分ではない〉 ・忙しい ・セリフのある役をやりたい 福本さんが切られ方を工夫し始めたのは、なぜですか。 ・存在感を出したい ・せっかくやるなら、いろいろやってみたい ・演技をもっと褒められたいから 福本さんの生き方は、本当に幸せですか。 〈幸せ〉 ・がんばりを見ていてくれたから ・有名になれたから ・役に立っているから 〈幸せではない〉 ・いつ報われるかわからない	○「いい気分」「いい気分ではない」のどちらかの立場に立たせてから、理由などを聞く。 ○出番が少しであっても、役割を理解し、よりよくしようとする行動をおさえ、価値の理解を図る。 ○直前の発問からの価値理解、および切れ役を続けてきた結果ハリウッドから出演依頼が来たことを踏まえて問う。 ○意見に偏りがあった場合、反対の考えを授業者から問い返し、話が深まるよう働きかける。
展開(後半)	3. 自分のことについて考える。 福本さんの仕事の取り組み方に、共感できますか。 共感できる →4 まあまあできる→3 あまりできない→2 共感できない →1 今日の時間で感じたことや学んだことを書きましよう。	○数値化することで、自分の考えを明確にして人間理解を促すとともに、他者理解の判断材料としても活用したい。 ○選んだ理由をワークシートにまとめるよう促す。 ○ワークシートに記入する。 ・話し合ったことを踏まえて、考えをまとめることができたか。
終末	4. 学んだことを広げる。	○「協力」という漢字を例に出しながら、説話を行う。

ねらい 人間が自然の中で生かされていることに気づき、自然を尊び、愛護に努めようとする道徳的態度を育成する。

○教材について

	学習活動・主な発問と予想される反応	指導上の留意点○と評価☆
導入	○自然についてのイメージを連想する。 ・(名詞) 山、川、海、森、花 など。 ・(形容詞) 美しい、広い、恐ろしい など。	
展開 (前半)	○教材と、中学生の意見作文を読んで考える。 〈発問〉 「トトロの森を立ち入り禁止にする」という意見について、賛成・反対それぞれの立場の理由を考えてみましょう。 両方の立場を考えた上で、自分の意見はどちらですか。 【賛成】・自然を大事にしない人がいるから仕方ない。 ・人間が悪いから、文句は言えない。 【反対】・トトロの森に入りたい。 ・人間の意識を変えたほうがいい。 ○自分の立場を明確にした上で、班で話し合う。 ※話合いのあと、自分の立場を変えてもよい。 ○教材に登場する老人と少年になったつもりで考える。 〈発問〉 筆者が出会った老人や少年がこの議論を聞いたら、何と言うだろうか。 ・人間は勝手だ。 ・自然の中で過ごすからわかることがある。	○ディベート形式で考えを深める。 ○両方の理由を自分で考えた上で立場を決めるが、他の人の意見に納得して心が動いたときは、最終的に立場をかえてもよい。 ○第三者の立場で考えることで、ねらいにせまる。
展開 (後半)	○自分自身について考える。 〈発問〉 あなたはこれからどんなふうに自然とつきあっていきたいですか	
終末	○学習のまとめ	○教師が子どもの頃に自然から学んだことについての話をする事で、生徒が自分ごととして捉えやすくなる。

ねらい 人間には心の弱さを克服しようとする様々な良心があることを知り、自分自身もより良く生きようとする道徳的な実践意欲を培う。

○教材について

	学習活動・主な発問と予想される反応	指導上の留意点○と評価☆
導入	1. 私たちの道徳を読み、自らの弱さや醜さ、良心を想起する。	・発言は求めず想起することにとどめる。
展開(前半)	2. 資料を読み、考える。 「魚屋へ払うこの小切手一枚あれば…」と思う筆者の“心の綱引き”はどのようなものだろうか。 ・このお金がほしいけど、盗むなんてできない。 ・このお金を持って東京に行きたい。でも、所長先生を裏切ることになる。 金銭登録器に差しのばした手を止めることができた筆者の「良心」は、どのようなものだったのだろうか。 ・所長先生を裏切ることができない気持ち ・犯罪はダメだという気持ち ・大学で頑張りたいことがあるという気持ち ★筆者は足音が聞こえたから「良心」に気づいたのか、筆者の心の中の「良心」が足音を捉えたのか。 懐中のお札を服の上から大事そうに押さえながら「人生の学校」を去った筆者は、これからどのような生き方をしようと考えていたのだろうか。 ・良心に恥じない生き方をしよう。 ・誠実に生きていこう。	・筆者の心の中に「善」と「悪」の葛藤があることをおさえる。 ・犯罪者になっていたかもしれないとおののき、いまだに夢に見てうなされる筆者の良心に迫る。 ・筆者のこれからの生き方を考える。
展開(後半)	3. 自分自身を見つめる。 自分の弱さや醜さに負けそうになっている自分に気が付いたとき、自分に対してどのような言葉をかけてあげたいですか。	・弱さに負けない生き方について、自分自身と向き合う中で深めていく。
終末	4. 私たちの道徳を読み、学習のまとめをする。	・中学生作文から、道徳的価値を深める。